



つわの

6月定例会

議会だより

日原天文台で天体観測を！



2010年の探査機はやぶさの世界初の小惑星からのサンプルリターン以降、今年は金環日食等、天文ブームにわいた。

- ・2012年5月21日の朝、太陽がリング状に欠けて見える珍しい天文現象 金環食（金環日食 山陰では部分日食）が観測できた。
- ・2012年6月6日 太陽表面を金星が通過した（写真左 日本では130年ぶり、世界的にも122年ぶりに、次回は105年後、2117年12月11日）

皆様も日原天文台に天文観測に行きませんか。津和野町民は無料。

営業時間 13時30分～22時 定休日 火曜日・水曜日（祝日が重なった場合は営業）

※写真は日原天文台提供

今回の注目！

平成24年 6月定例会

- 24年度一般会計補正予算 2p～3p
- 一般質問 4p～9p
- 条例改正・請願 10p
- 採決表 11p
- 意見書・編集後記 12p

No.27 (2012)

平成24年7月20日発行
島根県津和野町議会
TEL 0856-74-0089
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp
印刷：太 洋 印 刷

病院事業会計補正予算

支出（主なもの）

○電子カルテ導入委託料 1億3,655万円

収入（主なもの）

○企業債 9,240万円

○国県補助金 4,410万円

①電子カルテとは……仕組み。

従来、医師が紙のカルテに患者の診療経過を記入していたものを、電子情報としてコンピュータで記録する仕組み。

②電子カルテ導入支援事業

電子カルテを使って益田圏域の病院間でカルテを共有化し、島根県内の病院間でネットワークを構築する。

③電子カルテ導入のメリット

患者のカルテ情報の共有化により、救急搬送先の病院で、投薬や疾病の既往歴、MRIやCT画像の情報を見ることができ、速やかに適切な治療が受けられる。また、会計の計算が迅速になる。

④電子カルテの導入時期

平成24年度中に導入し、平成25年度より稼働予定。

医療対策課 移転しました。



平成24年6月1日より、医療対策課【地域医療対策係・予防係（地域包括支援センター）】となり、津和野共存病院1階内科前に移転しました。医師・看護師等の医療従事者の招へいや病院経営について津和野共存病院との細かな連携を取っています。予防係は、患者さんやご家族の方々、関係機関等と介護予防や相談等を行っています。

会期 6月22日から6月27日の 6日間

☆平成24年☆ 第4回(6月)定例会を開催

一般質問は12人が行ないました。今定例会には専決1件、条例7件、補正予算11件、その他4件、請願2件、並びに議員提出議案2件が提出され、審議を行いました。

平成24年度一般会計補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ 3億7,502万円 を追加して歳入歳出予算総額それぞれ 77億4,052万円 とした。

歳 出 (主なもの)

【総務費】

○まちづくり政策費

集会所建設等事業補助金 54万円 (左鐙一の谷集会所トレイ改修等)

コミュニティ助成事業補助金 500万円 (鷺原ハ幡宮神輿・鷺舞衣装各 250 万円)

○国際交流費 イベント補助金 200万円 (コンサート開催 11 月)

○生活バス対策費 町営バス購入費 815万円 (本部線バス老朽化による新規購入)

○グラウンドゴルフ場建設事業費 65万円 (認定コース指導・コース詳細設計追加)

【農林水産業費】

○林業費 林道奥殿線法面工事 1,000万円

【土木費】

○道路新設改良費 ▲6,805万円 (笹ヶ谷・日原添谷・円の谷の3路線分大幅減額)

平台線 1,015万円 (左鐙一の谷)

木毛線 985万円 (畑迫木毛)

日原停車場線 200万円 (測量業務委託料)

笹ヶ谷線 ▲3,065万円 (畑迫内美)

日原添谷線 ▲2,865万円

円の谷線 ▲3,075万円 (枕瀬犬戻～左鐙晩越 旧国道)

○地籍調査事業費 250万円 (県道須川谷・日原線の測量範囲の増等による)

○工事請負費 1,100万円 (脇本沖線拡張工事)

【商工費】

○商工振興費

津和野町緊急信用保証料給付金 250万円 (資金繰り安定化対応資金)

日原商店街駐車場補修補助金 80万円 (日原商店街駐車場金網・白線等修繕)

○観光費 建築物基礎的調査業務委託料 35万円 (SL館耐力度等調査料)

【消防費】

○消防施設費 135万円 (町田地区簡水事業に伴う消火栓3基設置負担金)

○コミュニティ助成事業助成金 190万円 (青原自主防災会備品購入等)

【教育費】

○青原小学校屋内運動場改築工事 2億730万円

○津和野中学校校舎大規模改修工事 1億2,000万円

○備品購入費 569万円 (給食配送車老朽化に伴う新規購入)

○森鷗外記念館費 180万円 (備品購入費 森鷗外草稿資料)

歳 入 (主なもの)

○教育費国庫負担金 2,625万円 (青原小学校屋内運動場改築)

○教育費国庫補助金 3,151万円 (青原小学校屋内運動場改築)

//

4,039万円 (津和野中学校校舎大規模改修)

○土木費国庫補助金 ▲4,300万円 (社会資本整備総合交付金額の確定による)

※▲減額 ※千円以下切り捨て

わかりやすい推進を

*住民協働のまちづくり

問 今年度における重点施策である協働のまちづくりの推進は今後の本町の未来に大変大きな影響を与えると思っている。したがって、この推進の過程こそが様々な行政課題を把握することであり、隠れている課題の再認識につながり、一方で、町職員が一丸となって取り組むことにより、職員の資質の向上が図られ住民の信頼感も増して住民と行政との一体感の醸成につながると信じている。そこで次のことについて問う。

説明会の状況と課題は。

町長 地区説明会は町内を11の地域に分けて行っている。意見として、高齢化等により現在の自治会を維持することが精一杯で、まちづくり委員会設置に対する負担を訴える意見が多かった。まちづくり委員会に対する人的支援策の再検討も必要になっているが、地域からの意見に対しては柔軟に対応する。

青木 克弥 議員

問 地域担当制はいつ導入して、その内容は。

町長 職員の地域担当制については、まちづくり委員会の設置の同意が得られた地域から配置していく。まちづくり委員会の役員や委員は行わない。

問 自治会のない地域に対する対応は。

町長 自治会のない地域は、嘱託員、地域コーディネーター、公民館と連携して対応する。町内会や商店会などの組織からまちづくり委員会に参画してもらいたい。

問 町民全体への周知は誰がどのようにして行うのか。

町長 事業の住民周知については、まちづくり委員会結成後まちづくり委員会と行政が連携して広報などにより行う予定にしている。



住民の命と生活を守る

*自然エネルギーの活用

問 将来的な脱石油・脱原発を考えて小水力・太陽光発電を進め、町施設、家庭や農家への木質バイオマス燃料の普及は林業再生にもつながると考えるがどうか。

町長 木質バイオマスの暖房器具の導入補助制度を、今冬までに導入したい。

*長時間勤務のリスクと対策

問 公務員の長時間勤務は心の病になるリスクが増大となる。状況と対策を尋ねる。

町長 教育委員会416時間131万円
福祉事務所255時間81万円
教育委員会244時間81万円
税務住民課223時間99万円
教育委員会221時間69万円

以下、健康保健課、福祉事務所、営業課、教育委員会、福祉事務所となっている。

問 長時間勤務の理由は何か。

教育長 一番多い職員は職の専門性による。2・3番は県の報告書作成等による。

町長 福祉事務所は時間外相

岡田 克也 議員

談、税務住民課は時間外徴収業務等による。水木をノー残業デーとし、時間外の多い職員に保健師の健康面談等を行っている。

問 時間外手当が上位5人で約40万、上位10人で約70万円になる。町内の厳しい雇用状況を鑑み、嘱託や臨時を雇用し、健康リスクの高い長時間勤務を抑えてはどうか。

町長 嘱託、臨時を雇用して長時間の勤務を控えたい。

問 業務を速やかに的確にできる有能な職員は昇給・昇格等で優遇すべきと考えるが。

町長 人事評価制度を試し、賞与の優遇を検討する。

*安全な町の交通体系

問 長距離バスの事故等によって、運転手の健康や体調管理が問われている。町民の命を運んでいたく町バス等の委託業者に深く敬意を表すると共に、町の管理体制を問う。

町長 毎日の健康とアルコールチェックを行うよう指導している。

放射能検査と安全認証は行政で

*定住自立圏構想

問 益田市を中心市として、道州制の基礎自治体づくりを狙ったものである。協定締結は慎重にすべきではないか。

町長 中心市と連携自治体それぞれが持つ優位性を活かして連携することで圏域住民にとって住みやすい環境へ発展すると考える。不都合が発生すれば破棄できる拒否権がある。

*放射能検査

問 放射能検査についての相談窓口を庁舎内に設け、県で島根県産品の放射能検査と安全認証システムを構築するよう要求すべきではないか。また、今回の検査料は東電に請求すべきではないか。

町長 相談は関係課に置いて対応し、課内では情報の共有を図りたい。県で放射線量の検査や産品の安全認証システムが構築され、市場が認定していただけるのであれば、これに越したことはなく、県の対応方法を確認するとともに要望活動を行いたい。検査料は高額でな

竹内 志津子 議員

く、賠償請求は個人負担も発生するので、個々の関係者に任せるよりほかはない。

*ラジオ放送の受信

問 災害時情報や生活情報を入力するために、NHKラジオ第1・第2放送中継アンテナ設置を要求すべきではないか。

町長 本町の事業として告知端末を通してクリアな音声で聞くことが可能な環境整備や町独自の災害情報伝達手段を講じる努力をしている。今後改善への取組みを続けたい。

*野焼き

問 農業者が稲わらや雑草を焼くことに対して、町民の理解を得られるよう手立てを講じるべきではないか。

町長 稲わらや刈り草は大量に発生するので焼却場での処理は対応できない時もある。野焼きもやむを得ない処理であることを住民に理解いただきたい。

人をつくる

*ユビナビは必要か

問 町内の名所・旧跡に近くと自動的にガイドをしてくれ、町内のお店情報も簡単に検索できる機械」として、国の全額補助だといえ平成22年に5千900万円でリニューアルされた。

ところが、このころからスマートフォンによるガイドシステムが急速に発達し、出雲市が「スカイウェア」というアプリで観光ナビを始めた。導入費は150万円。毎年の負担金は60万円だが、加入商店でまかなう。

ユビナビは時代に遅れた物であり、機械の保険料等で毎年32万円、電池交換費も必要。IJの学生にも不評である。廃止してはどうか。

町長 町のガイドはスマートフォン、美術館などの限定したところにはユビナビを使用するなど使い分けたい。

*学力を高める教育

問 「津和野町教育ビジョン」によると「全国及び世界に通用する普遍的な学力と地域に

道信俊昭 議員

根ざした学力を身につけるとある。

しかし、平成23年度の県学力調査での本町の小・中学生の学力は24教科中17教科で県平均を下回っている。

学力向上のために行政が取り組んでいるものを尋ねる。また「中高一貫校」の記述がないのはどうしてか。

教育長 現役大学生による、中学生への土曜日補講塾やサマースクールを行なっている。

また、小学校入学までの乳幼児に対して「0歳児からの人づくり」として、脳科学的な子育てシステムの協議を始めたところである。「中高一貫校」は状況によつて見直しの時期が来れば検討したい。本町の先人の生き方に関する副読本を当初予算で計上した。



地域医療に対する後方支援・住民の安全対策

*無坂川

問 改修工事について期成同盟会会長と共に、土木事業所へ陳情されているが、墓地の移転先で難航しているとのことであつた。法心庵住宅の撤去により代替地の話もある。早期改修工事を強く要望してはいいかがか。

町長

砂防工事として進められていたが、ここ数年、用地の確保ができず中断している。工事の推進については、毎年、鹿足土木協会の要望書にて要請をしている。本年も、強く要望を考えている。

*共存病院駐車場

問 6月から、津和野共存病院内に医療対策課と地域包括センターが開設され、多くの町民が相談に訪れると予想されるが、問題は駐車場である。病院は患者用駐車場24台分の賃貸契約をし、確保しているが、常に満車状態である。町、橋井堂、社協、特老で一度検討されてはいいかがか。また、町職員には有料での駐車を検討されて

後山幸次 議員
うしろやまゆきつぐ

はいかがか。

町長 共存病院の駐車場問題を深く考えてはいなかった。病院内に医療対策課、包括センターが開設されると、相談者も増えると思われるので、駐車場の件は検討したい。職員の駐車料金徴収については、難しいと考えてはいるが、近隣町村の現状を調査して検討したい。

*斎場建設

問 増築工事の規模と内容について、常設の祭壇設置について、そして、入口の案内標識設置について検討されてはいいかがか。

町長

約300㎡の増築計画で140席の式場、霊安室、トイレ等を斎場検討委員会で審議している。祭壇の常設については、専門業者もおられ検討したい。案内板については、建設当時の経緯として、設置しないとの取り決めがあるので慎重に対応したい。

周辺部の教育資源を活かしたまちづくりを

*協働のまちづくり

問 地域担当職員の配置はいつどいつ形で始めるのか。

町長

まちづくり委員会設置が決まったところへ、地元の職員を優先的に配置する。2〜4名配置を考えているが地域の希望を踏まえて変えていく。

町長

形ができるように最初に地域担当職員がサポートすべきと考えるが、町民の考える地域担当制とは違うのでは。

町長

地域課題を解決する為のまちづくり委員会に対する人的支援策なので委員会ができていないところには配置できない。

*津和野町ならではの子育て教育資源を活かす方策は

問 津和野町ならではの子育て、教育資源を活かし、どのような教育の方向性や理念をもっているか。

教育長

児童生徒が志を持ち社会に出て活躍できる人になれるようふるさと教育の推進、異年齢や学校間の交流学习の実施、ICT活用等授業方法の

京村まゆみ 議員
きょうむら

工夫ができる教員育成に取り組む。

問 学校再編計画で、廃校が進み地方交付税減額は多大になる。また、国の予算で雇用される教育のプロである教員が一挙に減数となる。この財政的、人的マイナスをどう補っていくのか。計画を修正するべきでないか。

教育長

学校再編計画の論点は十分な体験ができにくい極小規模校のデメリットにある。計画を見直す考えはない。

町長

数の論理なら10年後には1校になる道筋を作っている。新しい学校創りをめざす教育ビジョンの理念を具体化するならば、周辺部の教育資源を活かしたまちづくりの方向性に向かうべき。町長の方針を問う。

町長

町全体の教育資源を活かしたまちづくりの方向性は検討するが、その事と学校再編計画は別である。

エネルギーの地産地消

*森林資源を活かしたまちづくり

問 山の宝でもう一杯プロジェクト「林地残材搬出支援事業」

の取り組みが流域でも広がりをみせている。定住自立圏形成協定項目に掲げられている流域産材の利用促進や新・省エネルギーの導入促進を図られた。現状の課題と今後の展開方策を問う。

町長 当町の社会実験が県内の自治体からも注目されている。益田市と締結される運びとなっている協定の産業振興の重点項目として木質バイオマスの有効活用を推進したい。新・省エネルギー諸機材の導入支援や公有施設への設置等検討していきたい。地域活性化総合特区（内閣府）での施策としても取り組みたい。

問 チップだけでなく木質ペレットによるエネルギーの『地産地消』の取り組みが必要ではないか。

町長 チップ材の含水率が課題となっている。ペレットと一体

板垣敬司 議員

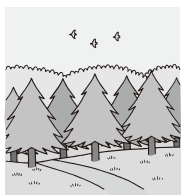
的な生産体制の確立が急がれる。今年度からペレットストーブ等の導入に対する助成を検討したい。

*「名勝・旧堀氏庭園」修復事業

問 旧堀氏庭園にある畑迫病院の修復に当たっては、保健、医療、福祉の観点から施設の有効活用を図るべきと考える。

教育長 大正時代の建物をはじめ、前庭、旧建物前のロータリー部等が庭園的要素として位置づけられている。

修復後の適正な保存管理のあり方については、学識経験者や地元代表の方による「旧堀氏庭園保存管理計画策定委員会」で検討をしている。住民の方から具体的な要望等があれば検討していきたい。できれば、今年中が望ましい。



官民一体による行政

*官民一体による行政

問 町民の税金を有意義に活用するためには、どのような方法で官民一体の行政をするのか。

町長 人口の減少に伴い自治会では限界集落化、担い手不足、各種団体への会費も減少している。今年度より、地域提案型助成事業を創設し、住民と行政の協働のまちづくりを進めるこの事業に対して、三つの視点をもって期待する。

① 地域課題を住民と行政とで今一度整理し、行政と住民が一緒にやること。

② 各集落が活力をもつため、地域おこし活動を推進する連携を深める機会をつくりたい。

③ まちづくりの新たな担い手を各集落で育成していただくために最大の努力をする。民でなければできないこと。官でなければできないこと。そして協働でやっていく事業は官民一体となって、助け合いながら事業を進めたい。

斎藤和巳 議員

*町営住宅

問 住宅は築数十年が経過し、修繕、建て替え等が必要となっている。今後の計画は。

町長 ライフサイクルコストの軽減を図るため、今年度「公営住宅長寿命化計画」を策定する。これにより改善、建て替えを検討し、耐久性の向上や躯体の劣化の軽減を図りたい。住宅の払い下げについては「地域住宅計画」が策定されるので、併せてこの中で検討したい。

問 医療従事者用住宅の建設工事の進捗状況について、また、建設工事にあたって問題はないか。

町長 8月31日までの工期で、事業を進めており、行程計画どおりである。進捗率は33%であり、工事は順調に進んでいる。



来町者へのおもてなし

*観光協会移転

問 観光協会事務所の移転に際し、町として観光協会に対しどう係わっていくのか。

また、観光協会が移転した場合、現在事務所として使用している桑原史成写真美術館の運営を今後どのように行う考えか問う。

町長 観光協会は法人化による社会的信用力の向上と、各種補助事業を活用したスタッフの充実と着地型旅行の推進を本格化したところであり、町としてこの動きを確実なものにするため、事務所移転についてもこの取り組みの一環と考え、何らかの支援策を検討していきたい。

教育長 仮に観光協会が移転したとしても教育委員会が直接運営する方向に変わりはない。観光協会に委ねていた日常管理業務等の対応を考える必要が生じると考えている。

問 観光協会の本音は桑原写真美術館が有効使用できれば移転は必要ないのでは。

川田

剛議員

例えば美術館の閉館時間に夜神楽での使用などは可能か。

教育長 物理的に難しいとは思いますが、要望があれば検討する余地はある。

*サイン計画

問 以前一般質問で取り上げた、カーナビが示す津和野の位置が日原周辺になる問題については、国道187号線日原大橋東詰付近に誘導案内看板を設置することで解決できると申し上げたが、サイン計画策定を機に、誘導看板を設置すべきではないか。

町長 指摘の箇所に誘導看板を設置すべく現在県へ補助事業の採択を申請している。

問 斎場の看板を設置すべき。設置しないという地元との取り決めがあるなら、誘導案内看板を離れた場所の標識等に設置することを提案する。

町長 検討委員会に諮り検討する。

観光客増員策

*安野光雅美術館駐車場拡張

問 平成13年開館の安野光雅美術館の駐車場は7台で少なすぎる、200m先に町営駐車場があるが大変不便である。

平成15年に明仁天皇、美智子皇后両陛下に御来館を頂いた全国に誇る美術館である。

隣接の津和野警察署「つわぶき安全センター」の廃止を島根県警と津和野警察署にお願いし、跡地を美術館駐車場に整備し来館者アップを図ってはいかがか。

教育長 「つわぶき安全センター」は無人であっても防犯効果は高いと考える、一方入館し易い駐車場は館の運営にメリットがある。今後指摘の件などを含め検討する。

問 津和野警察署は昭和34年設け設置以来53年間、鹿足郡の治安にあたり住民の安全安心の源となっている。この間に6駐在所が「県下全体のバランスと人口減」のため廃止、無人の安全センターが2か所設置

米

澤

文

議員

本署から「つわぶき安全センター」までは1.6kmで、緊急車両なら1分30秒程で到着する。津和野警察署は平成21年から住民の警戒心高揚のためパトカー等で赤色回転等を点灯し随時警らされ、朝夕は自主的に交差点で交通指導や子どもたちの見守り等を実施、このことで廃止のカーパーは十分できると思う。駅前開発と観光客増員のため要望してはいかがか。

教育長 施設所有の相手も有るので、来館者数や売上げ等も検討して要望したい。

*町営バスにふるさと歌を

問 町営バスに音響装置を付け津和野の歌を流してはいかがか。島根県のご当地ソング10曲中3曲が津和野の歌で、他にも町民作詞作曲の歌が多数ある。

町長 町営バスは公共交通であるが故に音楽放送は難しいと考える。ケーブルテレビでの放送を検討する。

教育ビジョンとまちづくり

*学力と食育

問 「確かな学力」を育むためには「食育」は大切な要素であり、食育の重要性をどのように考えているか。

教育長 子どもたちが、健やかな体と心を育むためには、必要不可欠なものである。

問 メディアの問題と密接な関係で、子どもによつては負のスパイラルに陥っている傾向があると感じているが。

教育長 近年の食生活の乱れに対し、正しい知識と食生活を身につけるよう、今後の重要なお組の一つとして考える。

*教育ビジョン

問 天領(幕領)の記述は一行半。編集段階で意見はなかったのか。

教育長 町の歴史的事実の一部分(教育や先人)を紹介するため記載しており、旧町を意識したものではない。

*まちづくり

問 まちづくり委員会を推進しているが、地域には様々な団体が入り混じっている中で、町

三浦英治 議員

民にとつて新たな負担にならないか。地域担当職員の資質で評価が決まるではないか。

町長 全職員を対象に、4月に制度の周知徹底を図った。今後も補助事業の研修会、地域課題解決のための先進事例研修、県自治研修所等が主催する研修会への派遣などで、各地域の取組に差が生じないよう、職員の資質を高める。

問 職員は、役員や委員の役は担わないとしている。本来、地域課題を解決する公民館が、助言のみ。それを住民に求めることは、何のための常勤か。業務が一杯一杯なのか、公民館職員の負担感こそが地域課題になるのではないか。

町長 想像以上に各集落に担い手が少なくなっている。人的支援策の拡充を講じないと当事業が進まない印象を強く持った。一度の説明では不十分なので、担当課が今後も説明会に出向いて努力する。

格差をなくせ

*減反政策

問 今年度水稲の生産調整は、前年度より増えたが、要因は何か。

町長 平成22年生産調整割合で最も高い市町村は44.9%、最も低いのが奥出雲町17.1%、その格差が27.5%もあり、今後3カ年で格差を段階的に18.7%までに是正する計画である。しかし、「前年度生産実績が99%を下回った場合、その実績が翌年度の実産目標数量の上限となる」と県から通達があり、格差は正が行われず生産調整割合が増加することになった。

問 県内での格差が、27.5%もあるとのことだが、本当に強い怒りを感じるが、この格差の要因は何か。

町長 生産調整割合の緩和策として4項目がある。
①中山間地域
②担い手として2.8倍以上の農家

③売れる米の生産地域
④種もみ生産地域がある。

村上英喜 議員

問 「99%ルール」が出来たが、今年度は町の作付面積を99%にするよう調整することだが、調整状況はどうか。

町長 現在は生産目標数量の99.2%となっており、99%ルールは達成する見込みである。

問 本部中学校の跡利用は、地域の要望を聞いて検討すると聞いているが。

教育長 地元の検討委員会から「小学校の移転」との要望があり、その方法で検討を進めている。しかし、小学校と中学校では施設の規格の基準が異なり、改修工事が必要である。

問 併設型中高一貫教育について、教育長の所見を問う。

教育長 中高一貫教育の実施形態は、中等教育学校、併設型、連携型の3通りあり、教育課程の編成、教員と生徒の連携、入学者選抜等、最も効果的な形を考えたい。

主な条例改正など

【結果・賛否表は11ページ】

***津和野町訪問看護ステーションの設置管理に関する条例の一部改正**

共存病院内に医療対策課を設置したことに伴い、訪問看護ステーション「せきせい」を病院内に移設し、瀧元のステーションも「サテライトつわの」の名称で残す。

***定住自立圏の形成に関する協定の締結**

益田市を中心市として協調および連携や分担を図りながら圏域全体の福祉向上、地域振興を図ることを目的とする。この協定を結ぶ事により周辺自治体となるわが町には特別交付税が、上限1千万円交付される。

反対討論

電子カルテ導入など医療連携は賛成だが、協定を結ばなくてもできる。次なる市町村合併への一歩となる事を危惧する。

***外国人登録制度の廃止に伴う関係条例の整理に関する条件の制定**

外国人全てに交付されていた、外国人登録証明書が、正規滞在者に限り在留カードを交付するという新制度の法律に伴い、手続きが簡素化された。

***津和野町産業後継者育成基金条例の制定**

旧日原町の制度を廃止し、町全域に対象者を広げる条例で現在の基金積立額は4千300万円ほど。

***津和野町新規農林業就業者に係る支援事業に関する条例の一部改正**

町産業後継者育成基金条例制定に伴う改正。

質疑・討論など

対象者のエリアわけが無くなり町全体に広がったのはよいこと。産業後継者育成なので、農業就業者の支援事業に限らず、商業者などにも支援を！



未来の産業後継者達!!

***津和野町伝統建造物群保存地区保存条例の制定**

文化財保護法に基づいて、伝統的な建造物群を景観や文化的資源保存地区に決定し、計画策定や現状変更への規制などを盛り込んだ条例。現在、津和野橋北地区を考えている。

請願

***町道高田線の改良新設に関する請願書**

提出者

高田自治会長 堀 憲隆

高田、喜時雨地区の住民にとって既存の道路は危険が多いため、県道田万川線と荻津和野線を直結する新たな道路新設を求める請願。

【経済常任委員会へ付託審査】



提出者	4月臨時会 賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	京村	村上	板垣	竹内	道信	岡田	三浦	青木	斎藤	河田	川田	小松	米澤	後山	沖田	結果
町長	税条例の一部改正 (専決処分)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
	国民健康保険税条例の一部改正 (専決処分)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
	平成23年度 国民健康保険特別会計補正予算(第6号) (専決処分)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	承認
	課設置条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	病院事業の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	非常勤の職員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	可決
提出者	6月定例会 賛否表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席	京村	村上	板垣	竹内	道信	岡田	三浦	青木	斎藤	河田	川田	小松	米澤	後山	沖田	結果
町長	訪問看護ステーション設置及び管理に関する条例の一部改正 (専決処分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	定住自立圏の形成に関する協定の締結	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	過疎地域自立促進計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	消防ポンプ自動車の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小型動力ポンプ積載車の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	外国人登録制度の廃止に伴う関係条例の整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	携帯電話等エリア整備事業分担金等徴収条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	福祉医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	産業後継者育成基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	新規農林業就業者に係る支援事業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	伝統的建造物群保存地区保存条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	病院事業の余剰金の処分等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 電気通信事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 診療所特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成24年度 病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会	議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める請願	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町道高田線の改良新設に関する請願書	経済常任委員会付託															
議員	『アウトメディアによって豊かな“時間”“心”“つながり”をめざす』決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

決議・意見書提出

『アウトメディアによって

豊かな時間・心・つながりをめざす決議』

提出者 青木克弥
賛成者 米澤 宏文
道信 俊昭

情報化の急速な進展により情報の入手や発信が容易になってきた。しかし一方で、誤った接触や使い方、長時間接触による個人の心や体に対するマイナスの影響、家庭や社会生活での人間関係の希薄化などが大きな問題となっている。

そこで、アウトメディア（注1）によって、豊かな「時間」「心」「つながり」をめざし、次のとおり決議する。

▽発達段階に応じた電子メディアの正しい使い方を理解し、家庭でのルール作りを大切にしましょう。

▽毎月第3日曜日「しまね家庭の日」（注2）及び毎週水曜日は、家庭での団らんなどアウトメディアチャレンジの日としましょう。

▽地域ぐるみでアウトメディアに取り組み、人と人の新たなつながりを生み出しましょう。

「緊急事態基本法」の早期制定を

求める意見書の提出

提出者 三浦 英治
賛成者 斎藤 和巳
板垣 敬司

岡田 克也

東日本大震災において我が国は、緊急時における対応の甘さを露呈した。世界の大多数は、「非常事態宣言」を発令し迅速に対応している。平時体制のままであり切ろうとすると自衛隊、警察、消防などの移動、私有物の撤去、土地の収用などに手間取り救援活動に支障を来し、その結果、更に被害が拡大することになる。

国においては東日本大震災の教訓を踏まえ、今後想定される

（注1）アウトメディア：テレビ・パソコン・ゲーム・携帯電話などの電子メディア漬けの生活を見直し、自分のためや家庭・地域社会と過ごす時間を増やす取り組み。

（注2）しまね家庭の日：毎日、おとなも子どもも時間に追われ、忙しく過ごしている。でも、ちょっと立ち止まり、家族について考えてみよう、と考えられたのが「しまね家庭の日」。

事態に備え、国民の生命財産を守るため、基本的人権に十分配慮のうえ緊急事態に対応する基本法を速やかに制定されるよう強く要請する。

主な質疑（竹内）①平時体制を無くすということとは具体的にどういうことか。②基本的人権に配慮とあるが、どのように侵される恐れがあると考えているのか。

答（三浦）①緊急時の初動態勢が遅れる。各機関を統合し、命令系統を一つにしなければならぬ。②世界の主要国には基本的人権を守るため、憲法に緊急事態条項がある。

編集後記

紫陽花が雨に濡れて美しいのもつかの間、いつの間にか暑い夏が来ようとしています。

まわりを見渡してみると、山々の木の葉もその色を濃くし、高津川では竿が舞っています。この様な季節の移り変わりに気づかないほどに日本の社会が変革しています。だからこそ、私たちは、いま一度、足元を見つめなおす必要があるのではないのでしょうか。今年度は、新しく地域振興策が示されました。これを契機にみんなで話し合い、語り合って我が町の良いところを再発見し、明るい明日につなげたいものです。

6月から編集委員が代わりました。わかりやすい「議会だより」作りに務めますので、皆様のご意見をお待ちしています。

（青木）

編集委員

青木 克弥 後山 幸次
小松 洋司 京村まゆみ
岡田 克也 川田 剛